

保護者にとっての子どもの入園の意味 (1)

—入園先選択理由に着目して—

藤崎 春代

(昭和女子大学生活機構研究科)

[目的]「入園とは、子どものみでなく、保護者にとっても子どもを家庭外へと送り出す移行体験である」との立場から、園生活開始により保護者にどのような気づきや育ちが促されるかを検討する。園生活とのかかわりは入園前の園選択から始まっていると考え、本研究では入園先選択理由に着目する。

[方法]調査時期:200X年8月から200X+1年6月。**対象者と手続き:**都内の某子育て広場で610名に質問紙調査用紙を配布、郵送にて回収。323名から回答を得た(回収率53.0%)。子の平均月齢15.17(SD8.94、範囲2-62)。**調査内容:**①子どもを入園させた経験の有無、②対象児(一番年下児)の入園希望先(入園先)-保育園・幼稚園・他から選択、③入園先選択理由44項目に重視しない(1)~する(6)で回答。

[結果と考察] 1) **入園先選択理由尺度の作成:**44項目から天井効果5項目と床効果3項目を除き主因子法による因子分析を行った結果、4因子構造が妥当と考えられた。そこで4因子を仮定して主因子法・バリマックス回転を行った

(Table1)。4つの因子を<I遊び重視・保育者信頼><II教育><III友だち><IV委託>と命名した。第I因子では伸び伸びとした遊びに関する項目と保育者と保護者との良好な関係に関する項目が合体した。子どもを入園させた経験(有・無)と入園先(保育園・幼稚園)による入園先選択理由尺度得点の検討: Table2は因子別の平均とSDである。第I因子は5点に近く「かなり重視」され、第IIとIV因子は4点前後であり「どちらかという重視」されている。一方、第III因子は3点以下であり「どちらかという重視されていない」。経験(2)×入園先(2)による分散分析結果は、4因子とも交互作用は有意ではなく、第I因子で経験の主効果(F(1,301)=5.14)が5%水準で有意、第III因子で入園先の主効果(F(1,301)=5.06)が5%水準で有意、第IV因子で入園先の主効果(F(1,301)=42.89)が1%水準で有意であった。保育園を入園先とする場合には、委託が優先され、友だちとのかかわりの側面を重視しにくいものと思われる。第I因子で経験有群の方が無群より重視する程度が低いという結果については、保護者の園生活とのかかわりにおける変化をとらえるためにも、低下の理由を今後検討する必要がある。

項目	I	II	III	IV
I 遊び重視・保育者信頼因子(α=86)				
外遊びが充実している	.782	.073	-.078	.042
自然体験が充実している	.760	.065	.039	.081
からだ作りの活動が充実している	.749	.154	.052	.088
遊び活動が充実している	.706	.186	-.082	.039
子育ての相談ができる	.590	.161	.190	-.032
保育者と保護者のコミュニケーション充実	.537	.167	.130	-.039
食育が充実している	.523	.181	.160	.249
先生が親しみやすい	.515	.181	.092	-.174
ベテランの先生が多い	.448	.158	.114	-.044
園庭が広い	.438	.134	-.021	.178
保育方針が自分たちの子育て方針と合う	.416	.103	-.013	-.267
II 教育因子(α=80)				
規律を教えてくれる	.198	.744	.008	-.005
知的活動が充実している	.317	.635	.074	-.058
文字を取り入れた活動が充実している	.258	.606	.175	-.005
しつけをしてもらえる	.073	.602	.111	.162
行事が充実している	.320	.573	.089	.035
III 友だち因子(α=66)				
子どもの友だちが通う	.058	.077	.555	-.022
同じ小学校へ入学する子が多い	.058	-.022	.536	.035
若い先生が多い	-.016	.137	.496	.067
園児数が多い	-.066	.100	.458	.063
制服がない	.069	.015	.422	.083
男性の先生がいる	.138	.025	.420	.095
IV 委託因子(α=67)				
保育時間が長い	-.078	.015	.074	.715
給食がある	.006	.071	.102	.659
預かり保育がある	.149	.024	.166	.522

経験	入園先							
	因子I		因子II		因子III		因子IV	
	保育園	幼稚園	保育園	幼稚園	保育園	幼稚園	保育園	幼稚園
有	4.63(.74)	4.53(.64)	4.07(.85)	3.96(.92)	2.44(.81)	2.66(.73)	4.42(.99)	3.51(.99)
無	4.76(.75)	4.81(.63)	4.06(.96)	4.30(.90)	2.51(.72)	2.72(.69)	4.34(.98)	3.45(1.09)

*本研究はJSPS 科研費 23530866 の助成を受けた。